

令和3年度事業計画

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

1 基本方針

今日、我が国は、経済的な発展のもとに物質的には豊かになったが、未だ様々な「不均衡」があふれており、「生きる意味のない命」があるかのように人を分断する事件やコロナ禍での不当な差別事象も起こっている。しかし、一人ひとりの存在そのものは、すべてが等しく光り輝いている個性であり、その輝き、すなわち「尊厳」を認め合う共生社会の実現が急務である。

糸賀一雄氏の思想は、あらゆる人の尊厳を等しく尊重するという、障害の有無、年齢、性別、国籍等を問わない普遍的思想であり、今こそ国内外や未来に発信すべき指針（道しるべ）である。

当財団では、この思想を受け継ぎ、次の時代へ確実に伝え、今の時代に求められる福祉の「人づくり」を進めるため、「糸賀一雄記念賞」および県から受託の「先人に学ぶ『福祉しが』人づくり発信拠点事業」や国から受託の「共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業」などを実施し、障害者など生きづらさがある人やその家族が安心して生活できる福祉社会の実現を目指す。

なお、本年度は「公益財団法人糸賀一雄記念財団第二次中期経営計画」のスタートの年であり、新たな計画の着実な推進に努めるとともに、組織をあげて賛助会員を増やす活動を強化推進するなどして、当財団の自主的・主体的な運営の確立および財政基盤の強化を目指す。

2 事業計画

(1) 啓発事業

- ア 福祉分野以外（企業、教育、まちづくり、男女共同参画など）との連携強化に向けた協議調整
- イ ブックレット「ほほえむちから」を使った「語り部」による啓発活動の実施

(2) 表彰事業

- ア 令和3年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および団体の募集、ならびに選考委員会の開催
- イ 令和3年度糸賀一雄記念賞および同未来賞の授賞式の開催

(3) 先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業

- ア 福祉現場の若手・中堅職員を対象としたワークショップの開催
- イ 糸賀一雄氏ら先人の関連資料の展示・収集

(4) 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

障害福祉従事者、事業経営者等が改めて共生社会の基本理念等を学び、それを実践につなげていくことを目的とした共生社会フォーラム研修事業を当財団が受託し実施する。併せて、本事業の実施を通じて、共生社会の基本理念を福祉現場や地域で語り広めることができる「語り部」を確保・育成する。

(5) 関連事業

- 糸賀一雄記念賞第二十回音楽祭の実行委員会への参加

(6) 広報事業

- 財団広報誌の発行やホームページの運営

(7) 財政基盤の強化

- 賛助会員の拡大を図るとともに、ブックレット「ほほえむちから」の頒布により自主財源の確保に努める。

収 支 予 算 書

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	12,000	15,000	△ 3,000	
受取会費	280,000	622,000	△ 342,000	
事業収益	15,802,000	13,995,000	1,807,000	
受取補助金等	9,964,000	9,964,000	-	
受取寄付金	2,878,000	1,878,000	1,000,000	
雑収益	-	1,000	△ 1,000	
経常収益計	28,936,000	26,475,000	2,461,000	
(2) 経常費用				
事業費	22,020,000	21,613,000	407,000	
管理費	6,916,000	4,862,000	2,054,000	
経常費用計	28,936,000	26,475,000	2,461,000	
(うち人件費)	9,320,000	9,400,000	△ 80,000	
評価損益等調整前当期 経常増減額	-	-	-	
評価損益等計	-	-	-	
当期経常増減額	-	-	-	
当期一般正味財産増減 額	-	-	-	
一般正味財産期首残高	△ 250,931	169	△ 251,100	
一般正味財産期末残高	△ 250,931	169	△ 251,100	
II 指定正味財産増減の部				
受取会費	1,390,000	1,000,000	390,000	
一般正味財産への振替額	△ 3,158,000	△ 2,500,000	△ 658,000	
当期指定正味財産増減 額	△ 1,768,000	△ 1,500,000	△ 268,000	
指定正味財産期首残高	52,857,110	52,592,110	265,000	
指定正味財産期末残高	51,089,110	51,092,110	△ 3,000	
III 正味財産期末残高	50,838,179	51,092,279	△ 254,100	

収 支 予 算 書 内 訳 表

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	8,000	—	4,000	—	12,000
受取会費	196,000	—	84,000	—	280,000
事業収益	15,802,000	—	—	—	15,802,000
受取補助金等	3,999,000	—	5,965,000	—	9,964,000
受取寄付金	2,015,000	—	863,000	—	2,878,000
雑収益	—	—	—	—	—
経常収益計	22,020,000	—	6,916,000	—	28,936,000
(2) 経常費用					
事業費	22,020,000	—	—	—	22,020,000
管理費	—	—	6,916,000	—	6,916,000
経常費用計	22,020,000	—	6,916,000	—	28,936,000
(うち人件費)	5,574,000	—	3,746,000	—	9,320,000
評価損益等調整前当期 経常増減額	—	—	—	—	—
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	—	—	—	—	—
当期一般正味財産増減 額	—	—	—	—	—
一般正味財産期首残高	△ 250,931	—	—	—	△ 250,931
一般正味財産期末残高	△ 250,931	—	—	—	△ 250,931
II 指定正味財産増減の部					
受取会費	973,000	—	417,000	—	1,390,000
一般正味財産への振替額	△ 2,211,000	—	△ 947,000	—	△ 3,158,000
当期指定正味財産増減 額	△ 1,238,000	—	△ 530,000	—	△ 1,768,000
指定正味財産期首残高	36,999,177	—	15,857,933	—	52,857,110
指定正味財産期末残高	35,761,177	—	15,327,933	—	51,089,110
III 正味財産期末残高	35,510,246	—	15,327,933	—	50,838,179

資金調達および設備投資の見込みについて

自 令和 3 年 4 月 1 日
至 令和 4 年 3 月 31 日

1 資金調達の見込みについて

なし

2 設備投資の見込みについて

なし

令和2年度事業報告

公益財団法人 糸賀一雄記念財団

今後の福祉の発展と人づくり、意識づくりを図り、障害者など生きづらさがある人やその家族が生涯にわたって安心して生活できる福祉社会の実現に寄与するため、糸賀一雄氏ら先人の福祉の実践と思想の普及啓発や、糸賀一雄記念賞および同未来賞の表彰事業、先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業、共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業などを実施した。

1 表彰に関する事業

(1) 糸賀一雄記念賞および同未来賞の候補者および候補団体の募集

令和2年6月3日から令和2年7月31日までを募集期間とし、候補者および候補団体の募集を行った。

(2) 選考委員会の開催

令和2年9月8日（火）AP東京八重洲会議室において選考委員会を開催し、次の受賞者を選考した。

ア 記念賞 一般社団法人 福祉フォーラムin別杵速見実行委員会（大分県別府市：代表理事 湯沢純一）

イ 記念未来賞 徳丸ゆき子氏（大阪市：認定NPO法人 大阪子どもの貧困アクショングループ 代表）

特定非営利活動法人 インフォメーションギャップバスター（横浜市：理事長 伊藤芳浩）

(3) 授賞式の開催

ア 日時 令和2年11月14日（土）

イ 場所 ホテルニューオウミ あづちの間

ウ 内容 表彰式、受賞者記念スピーチ

2 糸賀一雄記念賞関連事業への協力

関連事業として開催された糸賀一雄記念賞第十九回音楽祭の実行委員会に参加した。

3 先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業

滋賀県との先人に学ぶ「福祉しが」人づくり発信拠点事業委託契約に基づき、県立長寿社会福祉センター内の展示スペースにパネル展示等を行うなど、糸賀一雄氏らの実践と思想の発信、啓発を図った。

また、令和3年3月9日に、全国障害者雇用事業者協会滋賀県支部会員事業所を対象として、先人の福祉の実践と理念を学ぶ研修会を行った。

4 共生社会等に関する基本理念等普及啓発事業

「津久井やまゆり園」で起きた殺傷事件を風化させることなく、命の重さと共生社会に関する基本理念を多くの国民に浸透させるため、厚生労働省から受託し、一般の方を対象としたプログラムと福祉の現場や地域社会に向けて普及啓発していく人材の養成研修を組み合わせた共生社会フォーラムを3会場（鹿児島・新潟・千葉）で、福祉職等研修会を4会場（兵庫・高知・沖縄・宮城）で、全体フォーラムをオンラインで開催した。

5 啓発事業

ブックレット「ほほえむちから」や糸賀一雄紹介パンフレットを活用し、糸賀氏の思想の普及啓発に努めた。

正味財産増減計算書

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 一般正味財産増減の部			
1 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	12,204	20,238	△ 8,034
特定資産運用益	1	36	△ 35
受取会費	501,500	—	501,500
事業収益	14,024,500	13,783,700	240,800
受取補助金等	9,964,000	9,949,000	15,000
受取寄付金	1,000,000	3,000,000	△ 2,000,000
雑収益	87	58	29
経常収益計	25,502,292	26,753,032	△ 1,250,740
(2) 経常費用			
事業費	20,351,912	21,941,574	△ 1,589,662
管理費	5,538,045	5,793,558	△ 255,513
経常費用計	25,889,957	27,735,132	△ 1,845,175
(うち人件費)	9,195,626	9,331,818	△ 136,192
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 387,665	△ 982,100	594,435
評価損益等計	—	—	—
当期経常増減額	△ 387,665	△ 982,100	594,435
当期一般正味財産増減額	△ 387,665	△ 982,100	594,435
一般正味財産期首残高	△ 250,931	731,169	△ 982,100
一般正味財産期末残高	△ 638,596	△ 250,931	△ 387,665
II 指定正味財産増減の部			
受取会費	1,145,500	696,000	449,500
受取寄付金	—	500,000	△ 500,000
一般正味財産への振替額	△ 1,501,500	△ 3,000,000	1,498,500
当期指定正味財産増減額	△ 356,000	△ 1,804,000	1,448,000
指定正味財産期首残高	53,213,110	55,017,110	△ 1,804,000
指定正味財産期末残高	52,857,110	53,213,110	△ 356,000
III 正味財産期末残高	52,218,514	52,962,179	△ 743,665

正味財産増減計算書内訳表

自 令和 2 年 4 月 1 日
至 令和 3 年 3 月 31 日

(単位 円)

科 目	公益目的 事業会計	収益事業 等 会 計	法人会計	内 部 取 引 消 去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1 経常増減の部					
(1) 経常収益					
基本財産運用益	8,543	—	3,661	—	12,204
特定資産運用益	1	—	—	—	1
受取会費	351,050	—	150,450	—	501,500
事業収益	14,024,500	—	—	—	14,024,500
受取補助金等	4,880,153	—	5,083,847	—	9,964,000
受取寄付金	700,000	—	300,000	—	1,000,000
雑収益	—	—	87	—	87
経常収益計	19,964,247	—	5,538,045	—	25,502,292
(2) 経常費用					
事業費	20,351,912	—	—	—	20,351,912
管理費	—	—	5,538,045	—	5,538,045
経常費用計	20,351,912	—	5,538,045	—	25,889,957
(うち人件費)	5,439,751	—	3,755,875	—	9,195,626
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 387,665	—	—	—	△ 387,665
評価損益等計	—	—	—	—	—
当期経常増減額	△ 387,665	—	—	—	△ 387,665
当期一般正味財産増減額	△ 387,665	—	—	—	△ 387,665
一般正味財産期首残高	△ 250,931	—	—	—	△ 250,931
一般正味財産期末残高	△ 638,596	—	—	—	△ 638,596
II 指定正味財産増減の部					
受取会費	801,850	—	343,650	—	1,145,500
受取寄付金	—	—	—	—	—
一般正味財産への振替額	△1,051,050	—	△ 450,450	—	△1,501,500
当期指定正味財産増減額	△ 249,200	—	△ 106,800	—	△ 356,000
指定正味財産期首残高	37,249,177	—	15,963,933	—	53,213,110
指定正味財産期末残高	36,999,977	—	15,857,133	—	52,857,110
III 正味財産期末残高	36,361,381	—	15,857,133	—	52,218,514

貸 借 対 照 表

令和 3 年 3 月 31 日現在

(単位 円)

科 目	本 年 度	前 年 度	比 較
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現 金 預 金	1,960,658	1,398,681	561,977
未 収 金	11,429,000	12,035,000	△ 606,000
流 動 資 産 合 計	13,389,658	13,433,681	△ 44,023
2 固 定 資 産			
(1) 基 本 財 産			
定 期 預 金	51,943,110	51,603,110	340,000
基 本 財 産 合 計	51,943,110	51,603,110	340,000
(2) 特 定 資 産			
定 期 預 金	878,000	1,574,000	△ 696,000
特 定 資 産 合 計	878,000	1,574,000	△ 696,000
(3) その他固定資産			
什 器 備 品	1	1	-
電 話 加 入 権	36,000	36,000	-
その他固定資産合計	36,001	36,001	-
固 定 資 産 合 計	52,857,111	53,213,111	△ 356,000
資 産 合 計	66,246,769	66,646,792	△ 400,023
II 負 債 の 部			
1 流 動 負 債			
短 期 借 入 金	10,000,000	10,000,000	-
未 払 金	3,918,338	3,670,523	247,815
預 り 金	109,917	14,090	95,827
流 動 負 債 合 計	14,028,255	13,684,613	343,642
負 債 合 計	14,028,255	13,684,613	343,642
III 正 味 財 産 の 部			
1 指 定 正 味 財 産			
賛 助 会 費	1,340,000	696,000	644,000
寄 付 金	51,481,110	52,481,110	△ 1,000,000
電 話 加 入 権	36,000	36,000	-
指 定 正 味 財 産 合 計	52,857,110	53,213,110	△ 356,000
(うち基本財産への充当額)	(51,943,110)	(51,603,110)	(340,000)
(うち特定資産への充当額)	(878,000)	(1,574,000)	(△ 696,000)
2 一 般 正 味 財 産	△ 638,596	△ 250,931	△ 387,665
正 味 財 産 合 計	52,218,514	52,962,179	△ 743,665
負 債 及 び 正 味 財 産 合 計	66,246,769	66,646,792	△ 400,023